

○中原中学校の歴史 パート3

ふるさと佐賀、ふるさとみやき町に対し愛着と誇りをもってもらいたいという願いから、前任校では全校集会時の校長講話の時間や学校だよりで、地域や中学校の歴史、校歌、郷土の偉人について話をしてきました。

今後生徒達を取り巻く社会は、国際化やグローバル化がますます進展すると思われます。そういう中で、心のより処として故郷（ふるさと）を誇りに思うことは大切なことだと考えます。そのためには、自分の故郷や母校のことをたくさん知ることが必要だと思います。そこで、中原中学校でも中原町史や学校アルバム等の史料や写真を使いながら歴代校長先生とその当時の職員、当時の学校の様子について紹介していきたいと思います。今回は、**2代校長 坂井正義先生**と当時の様子について紹介しました。今回は、**3代校長 大木勝己先生**と当時の様子を紹介します。

第3代校長大木勝己先生は、昭和26、27年度の2年間本校在職でした。

このころの世界的な出来事としては、昭和26年サンフランシスコ平和条約と同時に日米安全保障条約が結ばれ、連合国による占領が終わりました。中原中学校関係では、昭和27年から2年間、県教委指定で、**学習指導法の研究改善**に取り組んでいます。

写真は、大木勝己校長、第5回卒業生（昭和26年度卒業生＝S27.3月卒業）、研究委嘱状と感謝状です。

第3代校長 大木勝己先生 S26~27年



第5回卒業生 昭和26年度

男子75名、女子69名 計144名

出来事
サンフランシスコ平和条約 S26
県教委研究指定 学習指導の研究改善 S27年

研究委嘱状と研究終了の感謝状

委嘱状
題目 学習指導の研究改善
昭和二十六年度から昭和二十七年間本県教育振興のために右題目の研究を委嘱する
昭和二十七年四月一日
佐賀県教育委員会

感謝状
本校は昭和二十七年四月一日に完了した研究指定校として研究に励み、本県教育の推進に多大の貢献をされたことに敬意を表し、謝意を表します。
佐賀県教育委員会